

平成 30 年度 矢向地区センター事業計画書

1 NPO 法人鶴見区民地域活動協会の事業方針

鶴見区民地域活動協会は、鶴見区自治連合会が設立した NPO 法人です。「地域の方々による地域活動の支援」「地域の特性に合った事業」「地域と連携した事業」等の地域に密着した活動を推進しています。これまでの事業をさらに発展させ、地域と一体となった活動を進めていきます。

①地域密着型の施設運営

- ・地域からの職員採用や運営協議会委員の選任により、地域密着型の施設運営を行っていきます。
- ・地域で活動している人材や特技を持つ協会職員を活用した事業展開を推進するため、人材バンクを構築していきます。また、地域活動への職員自らの参加を推奨し、地域との一体感を高めていきます。

②地域のネットワーク力を活かした事業展開と交流促進

- ・自治会・町内会、区老人クラブ、婦人部会など地域を支える団体との連携を強化し、魅力ある事業展開を行っていきます。
- ・ケアプラザ、障害者施設などの近隣施設や小・中学校とも協力することで、幅広い要望に応えることのできる運営を行っていきます。

③各地区センターに担当理事（連合自治会長）及び地域コーディネーターを配置

- ・地区センターが位置するエリアの連合自治会長を担当理事として配置し、自治会・町内会との連携を強化します。
- ・各地区センターに地域コーディネーターを配置し、自治会・町内会、近隣施設、関係団体との連絡・調整を図り、施設運営の充実を進め、地域活動の活性化を支援します。

④エリア別運営管理を目指した組織づくり

- ・5つの地区センター（矢向、末吉、寺尾・鶴寿荘、生麦、潮田）を基幹館とするエリアを設定し、近隣のコミュニティハウス、こどもログハウスと連携した事業を展開していきます。
- ・エリア内やエリア間の交流を活発化させることで情報の共有化、自主事業の共同企画化を図り、施設運営の水準を高めた事業展開を実施していきます。

⑤魅力ある自主事業の推進

- ・幼児から高齢者までが参加できる自主事業を実施するために、各施設で実施している事業を総括管理し、事業の種類や経費など施設間で一定水準を維持できる体制を確保していきます。
- ・自主事業の魅力を広めるために、自治会・町内会館などを利用した出前講座を実施していきます。
- ・人気の高い事業は、複数の施設で実施できるように情報共有化を進めていきます。

⑥新刊書・絵本の積極的購入による魅力ある図書貸出し事業の推進

- ・「地域の貸本屋」をモットーに評判の新刊書を多数取りそろえると共に、子育て世代に魅力を感じてもらえる絵本を充実していきます。

⑦利用者や地域の声の聴取と施設運営への反映

- ・運営協議会、利用者会議、ご意見箱、施設や街頭でのアンケート等の多様な広聴手段に加え、日常の



地区センター圏域図（1km）

利用者とのやり取り、自治会・町内会や地域団体との情報交換から得た情報にきめ細かく対応し、利用者目線に立った間の運営を進めていきます。

2 矢向地区センター管理運営の基本方針

矢向地区センターは、矢向地区の住民が自主的に活動し相互交流を深める場として利用する施設であり、鶴見区の区政運営方針である「安心」「ぬくもり」「活力」のあるまちづくり対策の実践の場として活用する施設です。

JRや国道で分断され、川崎市に隣接した新住民の流入の多い地域であり、コミュニティの醸成、地域連帯の意識形成を図る活動拠点として重要な施設です。また、地域活動、多文化共生、福祉活動の拠点として地域の方に愛され、親しまれる施設であるという認識のもと管理運営を行っていきます。

3 運営体制

①人員体制

館長、副館長、主任 3 名、スタッフは交代制で 14 名の計 19 名で施設運営を行います。

常勤職員 1 名以上とスタッフ 2 名が常時勤務する体制をとります。

②個人情報保護及び研修体制

「個人情報の保護に関する法律」及び「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守するよう職員研修を実施します。個人情報の収集は必要最小限とし、適切な管理、目的外利用の禁止など指導を徹底していきます。また、職員のスキルアップのために、本協会主催の研修を始め外部研修に積極的に参加していきます。

③緊急時の体制と対応計画

ア 鶴見区と締結した災害時の施設利用についての協定に基づき対応します。

イ 緊急時には緊急時連絡網に基づき近隣在住職員がすみやかに集合できる体制を確立しています。

ウ 矢向地域ケアプラザと合同で防災訓練、AED使用訓練を実施します。

エ 自動販売機は防災ベンダー対応機を設置するとともに、防災備蓄庫を設置します。

オ 地元防災拠点の運営委員（地元町会長、学校長）が本施設の運営協議会委員であるので、非常時には臨機に対応が可能な体制を確保しています。

カ 危機管理マニュアルに即し職員指導を行います。

キ 不審者対策として防犯システムの設置、町内会の防犯パトロール、小・中学校との情報交換・連絡を密にすることで対応していきます。

4 施設の運営計画

①運営内容

地域自治会・協力団体・地域住民が自主的に活動し、相互の交流を深める場としての施設利用の促進に努めます。

ア 矢向地区の自治活動の利用促進

・地域コーディネーターによる調整や利用促進を図ります。

・鶴見・あいねっとの集い、老人昼食会、高齢者スポーツ交流事業などを支援していきます。

イ 矢向地域ケアプラザとの連携

・秋まつり、防災訓練などを合同実施します。

②利用促進策

30年度利用者数14万人を目標に利用者の確保を図ります。

ア 施設利用促進策

- ・自主事業後のサークル化促進などで新規利用団体の誘致を図ります。
- ・自主事業数を延べ50講座以上確保し参加者を増やしていきます。
- ・サークル支援事業でサークルを活発化させ利用者を増やします。
- ・様々な媒体による広報活動を広げることで利用者を増やします。

イ 図書利用促進策

新刊書や絵本を充実させることで貸出し冊数を1,000冊増加させていきます。

③利用者ニーズの把握と取組み

ア 利用者ニーズの把握

- ・利用者との交流、利用者アンケートなどを通じて利用者ニーズを把握します。
- ・利用者会議を開催し意見や要望を把握していきます。
- ・運営協議会で意見や助言をいただき施設運営に反映していきます。
- ・自治会・町内会をはじめとする地域団体と密接に意見交換を行い、地域ニーズを把握します。

イ 利用者サービスの向上

- ・インターネット予約の導入を図り、団体利用申込方法の負担軽減を実施します。
- ・自治会、老人会、婦人部会などの地域団体が利用しやすい環境を整備します。
- ・参加費を低く抑えた自主事業の開催を増やしていきます。

④ 横浜市重要施策に対する取組み

ア 図書活動推進事業

新刊書、絵本を積極的に購入し魅力ある図書事業を推進していきます。

イ シニアが活躍するまち(健康づくり・介護予防)

健康体操、活動発表会、スポーツ交流会などを実施します。

ウ 子育て支援の場や機会の充実

子育て中の親子が気軽に利用できる居場所づくりを進めます。

子育て相談、読み聞かせ、リトミックなどを実施します。

エ 子ども・青少年の健全育成に向けた地域連携の推進

子どもが楽しく遊べる場の提供や子供向け事業の充実を進めます。

オ 参加と協働による地域自治の支援

地域活動の拠点としてケアプラザ、コミュニティハウスと連携し、地域の課題・情報の共有化を図ることで地域活動団体を支援していきます。

カ 文化芸術活動の支援

秋祭りや地域の音楽団体を支援する事業を実施します。

キ 災害に強い人づくり・地域づくり

地域住民の防災意識を高めるため、防災展へのバスツアー見学を実施します。

5 自主事業計画

①自主事業の充実に向けた対策

- ・人気の高い講座は継続すると共に、地域の特性を考慮した新企画の講座を増やしていきます。

- ・近隣のコミュニティハウスや、地区センターと連携した自主事業を実施していきます。
- ・施設共通の課題や人気度の高い講座などは、本協会企画の自主事業として実施していきます。

②自主事業の基本的な分類

ア 子育て支援・高齢者交流事業

子育て支援団体、区老人クラブ、矢向地域ケアプラザ、区福祉保健センター等と連携し、親子、高齢者が楽しく参加・交流できる事業を提供します。

イ 矢向エリア協働事業

矢向地区センター、新鶴見及び市場小学校コミュニティハウスと連携し、矢向エリアを対象とした共通講座や出前講座を実施します。

ウ サークル支援事業

登録団体がサークルの活性化を図れるような講座を企画していきます。

エ 外部依頼事業

専門的技術を要する講座は外部講師に依頼し、幅広いニーズに対応できる講座を企画します。

オ 他団体共催事業

自治会町内会や小中学校、地縁団体と共同で地域住民が交流できる事業を実施します。

6 施設の維持管理計画

安全・快適な環境維持及び長寿命化の観点から施設の維持管理に努めます。

ア 建築物保守・設備機器・環境衛生管理

- ・専門業者に委託し法令に基づく定期点検、年次点検を実施します。
- ・職員が「点検表」に基づき日常点検を実施し早期発見・早期対応に努めます。

イ 清掃業務

- ・専門業者に委託し、日常清掃、定期清掃を実施します。
- ・職員が開館前、閉館前に日常清掃を、開館時間内は汚れた時に随時清掃を行います。

ウ 保安警備

- ・開館時間内は職員が巡回警備を行います。
- ・防犯カメラによる監視や警備会社に夜間、休日の警備を委託します。

エ 廃棄物処理

- ・利用者にごみの持ち帰りをお願いすることで、施設から発生する廃棄物を減らしていきます。
- ・横浜市ごみゼロルート回収にて廃棄物を処理します。

オ 修繕

- ・修繕費を平準化するために、修繕計画を作成し修繕を実施します。
- ・突発的に発生する修繕は、地域業者に依頼することで迅速に対応します。

カ 外構、植栽管理

- ・専門業者に委託し、外構清掃、害虫駆除、樹木剪定を実施します。
- ・雑草除去は、日常清掃業者または職員が実施します。

平成30年度 自主事業計画書

募集対象	事業名 (教室名)	開催時期	開催回数	参加人員		自主事業経費			1人あたり参加費		講師謝金		備考 (共催団体・その他)
				募集人数 (人)	延参加 人数(人)	委託料支 出総額 (円)	参加者 負担総額 (円)	総経費 (円)	徴収の 有・無	参加費用 (円)	1回1講師 あたり (円)	1教室講 師謝金額 (円)	
成人	優しいピラティス講座	4/12,13,26	3	15	45	22,127	15,000	37,127	有	1,000	5,568 3,341	26,727	材料費¥10,000保険料¥400
自由	母の日のプレゼント作り口	5月	1	20	20	13,909	8,000	21,909	有	400	5,568 3,341	8,909	材料費¥12,600保険料¥400
成人	お煎茶教室「玉露編」	5月	1	12	12	12,309	6,000	18,309	有	500	5,568 3,341	8,909	材料費¥9,400
自由	矢向おもちゃ病院 I	6月16日	1	20	20	8,909	0	8,909	無	0	5,568 3,341	8,909	協力:港北おもちゃドクターの会
成人	リラククスアロマ講座	6月	1	12	12	10,709	9,600	20,309	有	800	5,568 3,341	8,909	材料費¥11,000保険料¥400
成人	幸運を呼ぶ・サンキャッチャー作り	6月	1	10	10	9,309	10,000	19,309	有	1,000	5,568 3,341	8,909	材料費¥10,000保険料¥400
自由	初夏のコンサート	6月	1	自由	50	21,137	0	21,137	無	0	11,137	11,137	楽器運搬費¥10,000
小学生	小学生のあそび〜ば①七夕作り編	7月	1	自由	20	3,400	0	3,400	無	0	0	0	協力:更生保護女性会 材料費¥3,000保険料¥400
小学生	夏休みこども科学教室①	7月	1	12	12	9,709	3,600	13,309	有	300	5,568 3,341	8,909	材料費¥4,000保険料¥400
幼児と 保護者	親子リトミック(前期)	7月	5	8組	80	12,240	16,000	28,240	有	2,000	5,568	27,840	保険料¥400
小学生	夏休みこども科学教室②	8月	1	15	15	9,309	9,000	18,309	有	600	5,568 3,341	8,909	材料費¥9,000保険料¥400
小学生以上	めだかの学校	8月	1	20	20	4,341	0	4,341	無	0	3,341	3,341	材料費¥1,000
成人	ヘルスマイトさん伝授の料理教室	8月	1	15	15	10,109	12,000	22,109	有	800	5,568 3,341	8,909	協力:矢向ヘルスマイト 材料費¥12,800保険料¥400
成人	七宝焼きでアクセサリー	9月	1	10	10	9,309	15,000	24,309	有	1,500	5,568 3,341	8,909	材料費¥15,000保険料¥400
小学生	小学生のあそび〜ば②空気鉄砲作り	9月	1	自由	20	3,400	0	3,400	無	0	0	0	協力:更生保護女性会 材料費¥3,000、保険料¥400
成人	カレーの本場 スリランカ人の教えるカレー講座	9月	1	12	12	9,309	9,600	18,909	有	800	5,568 3,341	8,909	材料費¥10,000
小学生	小学生お習字体験①	9月	3	8	8	17,704	8,000	25,704	有	1,000	5,568	16,704	材料費:¥9,000
小学生	小学生お習字体験②	10月	3	8	8	17,704	8,000	25,704	有	1,000	5,568	16,704	材料費:¥9,000
成人	イタリアの家庭料理教室	10月	1	16	16	9,309	16,000	25,309	有	1,000	5,568 3,341	8,909	材料費¥16,000保険料¥400
幼児と 保護者	親子リトミック(中期)	11月	5	8組	80	12,240	16,000	28,240	有	2,000	5,568	27,840	保険料¥400
成人	ハンドメイド・クリスマスリース講座	11月	1	12	12	6,368	9,600	15,968	有	800	5,568□	5,568	材料費¥10,000保険料¥400

(様式5)

成人	健康吹き矢	11月	1	15	15	9,309	7,500	16,809	有	500	5,568 3,341	8,909	材料費¥7,500保険料¥400
自由	矢向小3年生音楽会	11月	1	150	150	0	0	0	無	0	0	0	協力:矢向小学校
成人	整理収納アドバイス	12月	1	15	15	8,909	7,500	16,409	有	500	5,568 3,341	8,909	協力:更生保護女性会 材料費¥7,500
小学生	小学生のあそび〜ば③Xmas飾り編	12月	1	自由	20	3,400	0	3,400	無	0	0	0	材料費¥3,000保険料¥400
自由	お話し会	12月	1	自由	30	13,909		13,909	無	0	5,568 3,341	8,909	材料費¥5,000
自由	おもちゃ病院Ⅱ	12月15日	1	20	20	8,909	0	8,909	無	0	5,568 3,341	8,909	協力:港北おもちゃドクターの会
自由	獅子舞がやってくる!	1月	1	自由	80	11,637	0	11,637	無	0	11,137	11,137	お茶菓子:¥500
自由	冬のコンサート	1月	1	自由	50	21,137	0	21,137	無	0	11,137	11,137	楽器運搬費¥10,000
成人	バレンタインお菓子作り	1月	1	12	12	9,709	9,600	19,309	有	800	5,568 3,341	8,909	材料費¥10,000保険料¥400
町会選出	ワックン鶴見かるた大会	2月	1	100	100	0		0	無	0	0	0	協力:矢向中学校区自治会町内会
小学生	小学生のあそび〜ば④ひな飾り編	2月	1	自由	20	3,400	0	3,400	無	0	0	0	協力:更生保護女性会 材料費¥3,000保険料¥400
幼児と保護者	親子リトミック(後期)	2月	5	8組	80	12,240	16,000	28,240	有	2,000	5,568	27,840	保険料¥400
成人	手前みそ作り教室	2月	1	12	12	5,400	24,000	29,400	有	2,000	0	0	材料費¥24,000 調理用品¥5,000保険料¥400
自由	矢向おもちゃ病院Ⅲ	2月16日	1	20	20	8,909	0	8,909	無	0	5,568 3,341	8,909	協力:港北おもちゃドクターの会
成人	シルバークレイ粘土でアクセサリ	2月	1	12	12	9,309	18,000	27,309	有	1,500	5,568 3,341	8,909	材料費¥18,000保険料¥400
成人	粉から作る基礎のパン教室	3月	1	12	12	9,309	12,000	21,309	有	1,000	5,568 3,341	8,909	材料費¥12,000保険料¥400
成人	春を呼び込む寄せ植え講座	3月	1	12	12	9,309	24,000	33,309	有	2,000	5,568 3,341	8,909	材料費¥24,000保険料¥400
自由	矢向落語&マジックショー	3月	1	自由	50	32,071	0	32,071	無	0	22,274	22,274	材料費¥9,797
成人	矢向パソコン相談	第一月曜	12	自由	50	11,137	0	11,137	無	0	11,137	11,137	協力:矢向パソコンサークル
未就学児と保護者	絵本とわらべうたであそぼ!	第三水曜	11	自由	160	11,137	0	11,137	無	0	11,137	11,137	協力:絵本とともだち
成人	ボランティア交流・感謝祭	3月	1	100	100	0	0	0	無	0	0	0	矢向地域ケアプラザ協働事業
未就学児と保護者	子育て相談	4月~3月	51	自由	2000	0	0	0	無	0	0	0	協力:鶴見区福祉保健課
合 計				132		3517	432,000	290,000	722,000			408,703	

自主事業に要した総経費は、指定管理料(自主事業費)から充当した額と参加者負担額等の合計となります。

平成30年度 「横浜市矢向地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	37,043,000		37,043,000		37,043,000	横浜市より
利用料金収入	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	290,000		290,000		290,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	460,000	0	460,000	0	460,000	
印刷代	80,000		80,000		80,000	
自動販売機手数料	370,000		370,000		370,000	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（ ）	10,000		10,000		10,000	
収入合計	41,793,000	0	41,793,000	0	41,793,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	20,642,000	0	20,642,000	0	20,642,000	
給与・賃金	18,940,000		18,940,000		18,940,000	
社会保険料	1,102,000		1,102,000		1,102,000	
通勤手当	500,000		500,000		500,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	60,000		60,000		60,000	
事務費	2,074,000	0	2,074,000	0	2,074,000	
旅費	15,000		15,000		15,000	
消耗品費	700,000		700,000		700,000	
会議賄い費	40,000		40,000		40,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	210,000		210,000		210,000	
使用料及び賃借料	20,000	0	20,000	0	20,000	
横浜市への支払分			0		0	
その他	20,000		20,000		20,000	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費			0		0	ニーズ対応費より支出
施設賠償責任保険	19,000		19,000		19,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	20,000		20,000		20,000	
リース料	270,000		270,000		270,000	
手数料	570,000		570,000		570,000	
地域協力費	0		0		0	
事業費	722,000	0	722,000	0	722,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	722,000		722,000		722,000	
自主事業費			0		0	
管理費	14,519,000	0	14,519,000	0	14,519,000	
光熱水費	8,650,000	0	8,650,000	0	8,650,000	
電気料金	4,550,000		4,550,000		4,550,000	
ガス料金	1,500,000		1,500,000		1,500,000	
水道料金	2,600,000		2,600,000		2,600,000	
清掃費	2,300,000		2,300,000		2,300,000	
修繕費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
機械警備費	250,000		250,000		250,000	
設備保全費	2,119,000	0	2,119,000	0	2,119,000	
空調衛生設備保守	1,230,000		1,230,000		1,230,000	
消防設備保守	150,000		150,000		150,000	
電気設備保守	500,000		500,000		500,000	
害虫駆除清掃保守	53,000		53,000		53,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	186,000		186,000		186,000	
共益費			0		0	
公租公課	1,009,000	0	1,009,000	0	1,009,000	
事業所税			0		0	
消費税	1,009,000		1,009,000		1,009,000	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	1,507,000	0	1,507,000	0	1,507,000	
本部分	1,507,000		1,507,000		1,507,000	
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	1,320,000		1,320,000		1,320,000	
支出合計	41,793,000	0	41,793,000	0	41,793,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成30年度 矢向地区センター 自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>① 新旧住民の交流事業 秋祭り、ワックンカルタ大会等</p> <p>② 地域支援 自治会町内会、保育園等の優先予約</p> <p>③ 子育て支援事業 お話し会(12回)、保育相談(全50回)、リトミック、親子食育</p> <p>④ 子供の居場所支援 小学生のあそび一ぱ、母の日・父の日プレゼント、夏休み生物教室・科学教室</p> <p>⑤ 高齢者支援事業 卓球大会、囲碁大会、健康体操の開催支援</p> <p>⑥ 小中学校支援 体育の事業に体育室を活用、秋祭り等で発表の場の提供</p> <p>⑦ 多文化交流事業 外国人に学ぶ文化</p>			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>① 団体利用の申込みの円滑化 インターネット予約の導入</p> <p>② 町内会等の地域活動の支援 自治会、老人クラブ、地域諸団体への支援</p> <p>③ 地域の人材の活用 地域コーディネーターを活用した人的ネットワークづくり</p> <p>④ 利用者の立場になって、笑顔で接遇 聞く力のスキルアップ、笑顔でのコミュニケーション、公平</p>			

	<p>かつ柔軟な対応</p> <p>⑤ 自主事業を通じて、相互交流の場づくりを支援 趣味の講座、質の高いコンサート</p> <p>⑥ 環境整備 館内外を清潔に保つ・季節の花や飾り物で季節感を表現</p>			
	<p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>利用者ニーズ把握</p> <p>① 利用者とのコミュニケーションを密にする</p> <p>② 利用者会議の実施(1回)</p> <p>③ 利用者アンケート実施・ご意見箱を設置</p> <p>④ モニター制度の導入</p> <p>⑤ 入館者集計(毎月)、統計処理(年度末)</p> <p>運営への反映</p> <p>① 運営協議会開催(年2回開催)</p> <p>② 施設要望・苦情の把握(常時)</p> <p>③ 自主事業の精査・検討 参加者数、アンケート等利用者要望</p> <p>④ 図書購入 購入希望の多い図書の把握・購入 新刊書、絵本(200冊購入。うち絵本50冊)</p>			

	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>① 団体利用の促進及びサークル支援事業の充実</p> <p>② 図書利用 新刊書、絵本の充実(200冊購入。うち絵本50冊)</p> <p>③ 自主事業 事業回数の増加(50講座以上) サークル支援事業の充実</p> <p>④ 地域連携 モニターによる懸案事項の意見徴収</p>			
業務運営	<p>(3) 組織体制</p> <p>ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>① 常勤2名以上、非常勤は午前、午後、夜間とも2名勤務</p> <p>② 地域コーディネーターを配置し、人材ネットワークの充実、関係団体との連絡・調整、相談業務を行います。</p> <p>③ スタッフの採用は近隣住民(徒歩圏内)を優先します。</p>			
	<p>ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>① 連絡網の活用、職員・スタッフとも近隣者のため15分以内に集合可能</p> <p>② 緊急時の施設解錠に対応できる体制を確保。</p> <p>③ 災害ベンダー対応の自動販売機を設置</p> <p>④ 防災備蓄(ミネラルウォーター168本)</p>			
	<p>(4) 施設の運営計画</p> <p>イ 利用促進策</p> <p>① 料理室の利用率(15%)</p> <p>① 稼働率(62%)</p> <p>② 利用者数の増加(前年比2%増)</p> <p>③ 図書利用促進策 新館と書の充実(年間200冊うち絵本50冊)</p>			
	<p>キ 本市重要施策に対する取組</p>		/	

	<p>① 読書活動推進 新刊図書を積極的に購入する（年間200冊）</p> <p>② 健康づくり・介護予防 健康体操などの介護予防事業の支援</p> <p>③ 地域における子育て支援の場や機会の充実 子育て相談（毎週水曜日） 親子向け各種事業の実施</p> <p>④ 子ども・青少年の健全育成に向けた支援 子供が楽しく遊べる場の提供 小学生の遊び〜ば、生き物教室、科学教室など</p> <p>⑤ 地域自治の支援 消費生活推進員、保護司会、婦人部、あいねっと等との連携</p> <p>⑥ 文化芸術活動の支援 質の高いコンサートの開催</p> <p>⑦ 災害に強いまちづくり・地域づくり 防災関連事業の開催</p>			
	<p>(5) 自主事業計画</p> <p>① 子育て支援・高齢者交流事業 小学生のあそび〜ば、リトミック</p> <p>② 自治会等地域団体支援事業 秋まつり・ワックンカルタ大会・老人会他</p> <p>③ 団体・施設との共催事業 国際交流、ケアプラザなど共催事業実他</p> <p>④ サークル支援を意識した事業を実施</p>			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制 ・館長1名、副館長1名、主任3名、スタッフ14名の計19名で構成</p>			

	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>◎個人情報保護の体制</p> <p>① 職員への周知</p> <p>職員へ個人情報保護に関する誓約書の提出と個人情報遵守の重要性を周知</p> <p>② 個人情報の適切な管理</p> <p>個人情報の取得は必要最小限とする</p> <p>個人情報データは目的以外の使用を禁止とし、事業等終了後は速やかにシュレッダー等で処理</p> <p>PC のパスワード設定&施錠</p> <p>個人情報は、盗難防止に努め、施設外持出しを禁止</p> <p>複写・複製は原則禁止</p> <p>研修計画</p> <p>個人情報保護研修 新採用スタッフ研修、隔月開催の全体会議で研修</p> <p>◎その他研修 人権研修、防災訓練・AED研修、作業実習、行政研修・その他研修を実施</p>			
財務	<p>(7)ア 収入計画の考え方</p> <p>指定管理料とその他収入から立案</p> <p>①管理料（光熱水費、清掃、修繕、設備保全等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設が適切に管理できる予算配分 <p>②人件費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営に必要な人員が確保できる予算配分 <p>③事務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設運営が効果的に執行できる予算配分 <p>④事業費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業が確保できる予算配分 ・自主事業費は参加者に過度の負担のかからない範囲で徴収 			

	<p>ウ支出計画</p> <p>①支出計画の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算書に基づき支出を実行 ・予算を上回る修繕等が発生した場合、協会の資金で対応 ・自主事業の参加費は、参加者の受益を考慮して設定する <p>②支出の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品は、品質・価格競争で優位な品物を購入 ・他館との共同購入によるスケールメリットを生かす ・事業効果の高い自主事業を実施することにより、多くの参加者を確保する 		
	<p>(4) カ ニーズ対応費の使途</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者サービスの向上につながることに對して効果的・効率的な予算の執行を行う ・主な項目として、図書購入費、利用者用物品購入費、秋祭り関連諸費用、イベント等の諸費用等 		
<p>その他 (上記4つの視点以外の項目があれば追記)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定の視点に基づく目標を記載 		
<p>利用者等の意見</p>	<p>利用者等の意見の把握方法 利用者会議、ご意見箱設置、アンケート実施</p> <p>主な意見、要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階諸室と体育室の受付に並ぶとき混雑する。列を分けたらどうか。 	<p>意見、要望に対する対応</p> <p>⇒受付カウンターに案内表示をさせていただきました・</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・個人利用の時間に、卓球台横の防球フェンスをずらす方がいるので、通路が狭くて困る。 ・団体利用で体育室の全面を使用するのはいかなものか。 1/3の利用なら3チームが利用できる。 	<p>⇒館としても注意します。ご利用者の皆様も動かさないようご協力をお願いします。</p> <p>⇒利用の方法、利用者の決め方には様々な考え方がございます。現在、矢向地区センターでは、抽選に当選すれば、全面でも、2/3でも使用できることとしています。</p>	
--	---	---	--

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載